

株主メモ

事業年度	毎年2月21日から翌年2月20日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金／毎年2月20日 中間配当金／毎年8月20日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 電子公告により行ないます。 http://www.palemo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

以前は、旧株式会社鈴丹の株主様の特別口座に関するご照会先は、三菱UFJ信託銀行株式会社でしたが、三井住友信託銀行株式会社に変わりました。

株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 ☎ 0120-782-031

株主優待

株主の皆様方のご支援に対する感謝の印といたしまして、毎年2月20日現在の株主名簿に記載された300株以上保有の株主の皆様方に対し、下記のとおり株主様ご優待品を進呈いたしております。



300株以上	1,000株未満	1,000円のクオカード
1,000株以上		3,000円相当のカタログギフト

愛知県ファミリー・フレンドリー企業登録



登録年月日 平成20年2月15日

登録番号 C0024

仕事と生活の調和のとれた働き方ができる職場環境づくりに取り組む
愛知県ファミリー・フレンドリー企業として登録いたしました。

上場株式等の配当等に係る10%（所得税7%、住民税3%）
軽減税率の廃止について

2014年1月1日から上場株式等の配当等に係る10%軽減税率（所得税7%、住民税3%）は廃止され、本来の税率である20%（所得税15%、住民税5%）となりました。
これにより、2014年1月1日から2037年12月31日までは「復興特別所得税」を含め20.315%の源泉徴収税率が適用されます。

株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話照会先までご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

[主な支払調書]

＊配当金に関する支払調書

＊単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。
株主様は、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けください。

PALEMO CO., LTD.

第31期 報告書

[2015.2.21.～2016.2.20.]

～Doing it～

皆様の豊かさ・成長・満足の実現のために

顧客満足の実現により、更なる成長を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社第31期報告書をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

この第31期におけるわが国経済は、円安や堅調な株価を背景に、企業収益や雇用情勢は緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で物価上昇に加え、実質所得の伸びが限られる中、中国・新興国に加え米国においても景気減速懸念が高まるほか、年初以降の円高の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社が属する専門店業界は、価格と価値のバランスを重要視するなど消費者マインドは大きく変化しており、ファッション消費への慎重さも根強く残る中、厳しい環境で推移しました。

このような環境の中、当社は2期連続の営業損失という結果を踏まえ「事業構造改革」に着手してまいりました。重点施策である「MD（マーチャндаイジング）変革」、「サービス変革」、「コスト変革」、「店舗基盤変革」の4つの取り組みから経営体質の改善を図り、トップラインの向上と基幹事業の収益回復に努めてまいりました。こうした取り組みから、売上高は不採算店舗の閉店ならびに既存店売上高の減収等により前年同期比で減収となりました。一方で適正在庫のコントロールによる荒利益率の改善、ローコスト推進プロジェクトによる営業費削減が寄与し、通期営業利益については

期初計画数値を下回ったものの黒字に転じました。しかしながら、当期純損益については、前期の損失から大幅改善できたものの3期連続での損失計上という結果となりました。

つきましては、当期の業績と財務状況を勘案し、当期末配当金につきましては、前期末に引き続き無配とさせていただきますことを謹んでご報告申し上げます。

第32期におきましては、改めて顧客満足の実現に立ち返り、更なる成長に向け立て直しを図ります。そして「事業構造改革」の結果を検証するとともに、中期目標に掲げた当期純利益の黒字化実現に向け、既存店舗の収益拡大に努めてまいります。また今後の成長を担う新規ブランドの開発および既存ブランドの再構築についても着実に進め、ローコスト経営による営業費の削減にも継続的に取り組んでまいります。

そして役員はじめ社員一同、業績の回復向上に向け専心努力いたしますとともに、企業の社会的使命を重視いたしまして、企業統治ならびにコンプライアンス体制の強化など、企業の質的向上にも努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご高配を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 吉田 馨

指針

正しい経営
安定成長ローコスト経営
人財経営

Q1 当期の業績についてお聞かせください。

当期の業績は、売上高273億2百万円（前年同期比85.7%）、営業利益1億36百万円（前期営業損失7億25百万円）、経常利益1億88百万円（前期経常損失6億62百万円）となりました。

売上高におきましては、水着、浴衣などのシーズン商品や夏物衣料全般に堅調な動きが見られましたが、春物衣料の不振等の影響により上半期の既存店売上高前年同期比は95.4%にとどまりました。下半期においては、秋物が順調な立ち上がりを見せた反面、暖冬により冬物商品の動きが出遅れるなどの影響から、既存店売上高前年同期比95.7%となり、通期では95.5%という結果でした。

利益面におきましては、アパレル事業を中心に商品鮮度改善に向けた在庫コントロールの適正化が進捗するとともに、プロパー販売の強化に努めた結果、売上総利益率は前年同期比0.6%の改善となりました。また店舗賃料の低減や営業費の削減に努めたことにより、営業経費率は前年同期比で2.1%減となり営業利益は黒字となりました。

店舗の出退店におきましては、新規出店は5店舗にとどめ、不採算店舗を中心に131店舗を閉店した結果、当期末店舗数は574店舗となりました。

当期においては、アパレル事業におけるシーズンMDの精度向上、不採算店舗閉店による赤字額の削減に加えローコストプロジェクトによる経費削減により一定の効果が見られたものの、既存店売上高前年同期比の未達という課題が残りました。

Q2 今後の方針および今期の施策についてお聞かせください。

今期の方針は、「顧客満足に向けた構造改革」です。当期より進めております「事業構造改革」の結果を検証するとともに、顧客満足を判断軸に、「商品供給」「販売体制」「店舗環境」の最適化と「顧客化」推進を重点課題として、以下の施策に取り組んでおります。

「商品供給」については、価値ある商品を、必要なタイミングと数量を見極め、適正価格で提供し、消化率を高めるとともに在庫の適正化に繋げてまいります。「販売体制」については、顧客の期待に応える接客販売に努め、教育機会の充実により接客技術の向上にも磨きをかけてまいります。「店舗環境」については、魅力あるVP（ビジュアルプレゼンテーション）を中心に、見易く、買い易く、心地よい売場を提供してまいります。「顧客化」の推進については、メンバーズカード会員、パレモバ会員獲得を引き続き強化し、顧客と店舗を結ぶ販促ツールとして最大限の活用と顧客の囲い込みにも注力してまいります。

また既存ブランドの再構築を進める一方で、新規ブランドの開発にも着手しております。当期より専任担当者を配置しスタートしており、今後の新規出店および既存ブランドからの転換も視野に入れ、将来の主力事業化を目指しております。

今期は顧客満足の実現こそが既存店舗の収益拡大と考え、以上の諸施策に取り組んでまいります。そして通期における当期純利益の黒字化と永続的安定成長基盤の再構築に努めてまいります。

アパレル事業の概況

General Condition of Apparel Business

アパレル事業におきましては、下期よりレギュラー事業部とラージサイズ事業部の2事業部体制に変更したことにより、適正在庫コントロールへの取り組みが機能し始め、荒利益率の改善に繋がりました。新規の出店については、「Forest Heart」1店舗にとどめ、既存店舗についてはMDの精度を高めることを優先し、収益基盤の再構築に努めております。また今後の成長を担う新規ブランドの開発にも着手

しております。SC(ショッピングセンター)間の競争激化に伴い、テナントの入れ替えが進んでいる中、当社においても本年2月に既存ブランドから転換した「Lilou de chouchou(リルデシュシュ)さいたま新都心店」をオープンしており、計画を上回る売上推移となっていることから、今後拡大の余地があると期待しております。

ギャルフィット



GAL FIT

「フェミニン&クール」をテーマに、リラックス感のあるカジュアルスタイルとエッジの効いたモードスタイルを提案します。

スズタン



SUZUTAN

「エレガンス&フェミニン」をテーマに、幅広い客層へ最新トレンドと着まわしのさくベーシックアイテムを提案します。

リシェリエ



Recherche

「フェミニン」をキーワードに、ベーシックでリラックス感のある大人のカジュアルスタイルを提案します。

リジェイ・スプル



Re-J

「デイリー&リラックス」をテーマに、ベーシックアイテムとシーズントレンドを程よくMIXした“大人カジュアル”を提案するラージサイズSHOPです。

SUPURE

「フェミニン&カジュアル」をテーマに、上品さと着心地を大切にしたラージサイズSHOPです。

雑貨事業の概況

General Condition of Miscellaneous Goods Business

DALEMO

雑貨事業におきましては、ライフスタイル提案型ブランドの「木糸土」「Hare no hi」「illusie 300」を中心にMDの再構築を進めるとともに、雑貨事業全体としてオリジナル商品の拡大と適正在庫による商品鮮度向上にも努めております。新規の出店については、「Hare no hi」2店舗、「illusie300」1店舗、「Siebelet」1店舗として、ライフスタイル提案型ブランドを中心とした出店に努めております。今期はト

ータル提案型MDの再構築を進め、当社独自のライフスタイル提案を確立し市場の変化にスピードをもって対応してまいります。また既存ブランドにおいても、在庫活性化への取り組みを更に強化することにより、店舗の鮮度管理ならびに商品効率改善に繋げてまいります。

シーベレット



Siebelet

「毎日、楽しく」をテーマに、話題性あるファッション雑貨と生活雑貨を提案します。

インセンス



INCENSE

「MY BAGを探す楽しさや、見つけた時の喜びを共有できるBAG SHOP」自分のスタイルを確立した大人の男女に、「オンリーワン」のバッグを提案します。

イルーシー300



illusie300

「日常に彩り」をテーマに、300円のプチプライスでライフスタイルを提案します。

木糸土・ハレノヒ



木糸土

木・糸・土の素材を活かし、「無理なく、無駄なく」をコンセプトに、シンプルで飽きのこない生活雑貨を提案します。

Hare no hi

「ナチュラルライフ」をテーマに、アパレル、雑貨をトータルにコーディネート。ライフスタイルを提案します。

アパレル事業ブランド別の状況

(単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当期末店舗数
レギュラー事業部	1	92	12	312
リシェリエ	0	5	1	27
ドスチ	0	9	△1	21
ギャルフィット他	0	44	7	151
スズタン他	1	34	5	113
ラージサイズ事業部	0	12	△3	48
アパレル事業合計	1	104	9	360

雑貨事業ブランド別の状況

(単位:店舗)

	出店	退店	ブランド転換	当期末店舗数
シーベレット事業部	1	10	1	89
イルーシー300	1	6	△1	40
インセンス	0	0	0	32
木糸土・ハレノヒ	2	4	2	32
雑貨事業合計	4	20	2	193
複合店	0	7	△11	21
全社合計	5	131	0	574

注: 複合店とは、アパレル事業、雑貨事業のブランドを複数合わせた店舗です。

Lilou de chouchou リルデシュシュ(NEW)



いつまでもかわいく輝いていた女性に向けて、毎日のHAPPYを演出します。エレガンスをベースに程よくトレンドを織り交ぜながらON&OFFあらゆるシーンも自分らしく楽しめる上品で女性らしいファッションを提案します。



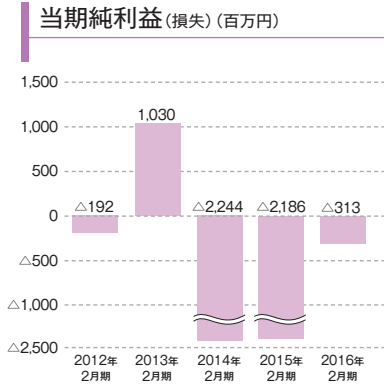
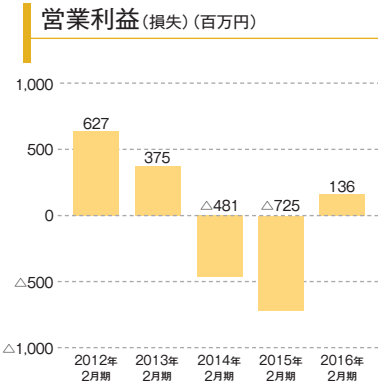
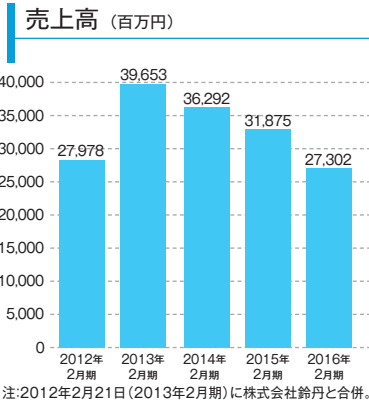
財務諸表

Financial Statements

※平成27年9月29日開示の「過年度の有価証券報告書の訂正報告書及び訂正決算短信等の提出に関するお知らせ」にありますように、第28期第1四半期以降の有価証券報告書・決算短信等の訂正を行いました。つきましては、本資料に記載されております過年度の数値は、訂正後の数値で記載しております。

貸借対照表			(単位:百万円)	
	当事業年度 (平成28年2月20日現在)	前事業年度 (平成27年2月20日現在)		
■資産の部				
① 流動資産	4,581	5,243		
固定資産	5,840	7,462		
有形固定資産	571	1,046		
無形固定資産	3	0		
投資その他の資産	5,264	6,414		
資産合計	10,421	12,705		
■負債の部				
流動負債	5,102	6,698		
固定負債	3,566	3,747		
負債合計	8,668	10,446		
■純資産の部				
株主資本	1,752	2,258		
資本金	1,229	1,229		
資本剰余金	1,104	1,433		
利益剰余金	△578	△402		
自己株式	△2	△2		
純資産合計	1,752	2,258		
負債純資産合計	10,421	12,705		

キャッシュ・フロー計算書			(単位:百万円)	
	当事業年度 〔平成27年2月21日から 平成28年2月20日まで〕	前事業年度 〔平成26年2月21日から 平成27年2月20日まで〕		
④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	916	39		
⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	620	203		
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,200	△296		
現金及び現金同等物の増減額	336	△53		
現金及び現金同等物の期首残高	256	309		
現金及び現金同等物の期末残高	592	256		



企業データ

Corporate Data

PALEMO

会社概要 (2016年2月20日現在)

社 名 株式会社 パレモ
設 立 1984年11月22日
資 本 金 12億2,925万円
本 社 所 在 地 〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
事 業 所 パレモ東京 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12番20号 日本橋T&Dビル4階
パレモ大阪事務所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目7番19号 第7新大阪ビル 1階
従 業 員 数 2,869名 (ナショナル社員181名、エリア社員他2,688名)
事 業 内 容 レディースアパレル、バラエティ雑貨、バッグの専門店チェーン
ホームページ <http://www.palemo.co.jp/>

役員 (2016年5月12日現在)

代表取締役社長	吉 田 馨
常務取締役	永 井 隆 司
取締役	江 里 口 直
取締役	越 田 次 郎
取締役	永 田 昭 夫
常勤監査役	黛 龍 二
監査役	中 村 弘
監査役	今 枝 剛

注:取締役のうち、永田昭夫氏は社外取締役であります。
監査役のうち、中村 弘、今枝 剛の両氏は社外監査役であります。

株式情報 (2016年2月20日現在)

発行可能株式総数	27,360,000株
発行済株式の総数	12,051,384株
単元株式数	100株
株主数	8,293名

大株主 (2016年2月20日現在)

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
ユニーグループ・ホールディングス株式会社	7,430	61.65
パレモ従業員持株会	217	1.80
個人株主A	213	1.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	130	1.07
個人株主B	94	0.78
岩間商事株式会社	52	0.43
個人株主C	52	0.43
サンラリー株式会社	50	0.41
個人株主D	45	0.37
個人株主E	40	0.33

株主構成 (2016年2月20日現在)

